

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機（2020/6/4版）	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		<p>補足-600-1【地盤の支持性能について】</p> <p>目次</p> <ol style="list-style-type: none">1. 概要2. 基本方針3. 評価対象施設周辺の地質等<ol style="list-style-type: none">3.1 評価対象施設周辺の地質3.2 評価対象施設周辺の地質状況整理結果3.3 敷地の地下水位分布及び耐震評価における地下水位設定方針<ol style="list-style-type: none">3.3.1 敷地の地下水位分布3.3.2 耐震評価における設計用地下水位設定方針4. 地盤の解析用物性値<ol style="list-style-type: none">4.1 設置変更許可申請書に記載された解析用物性値4.2 設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値<ol style="list-style-type: none">4.2.1 全応力解析に用いる解析用物性値4.2.2 有効応力解析に用いる解析用物性値4.2.3 その他の解析用物性値4.2.4 地盤の物性のばらつきについて5. 極限支持力6. 地盤の速度構造<ol style="list-style-type: none">6.1 入力地震動の設定に用いる地下構造モデル6.2 地震応答解析に用いる地盤の速度構造モデル	<p>表現の相違</p> <p>表現の相違</p> <p>表現の相違</p> <p>記載個所の相違</p> <p>表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機（2020/6/4版）	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		<p>参考資料 1 地下水位の観測データ</p> <p>参考資料 2-1 水位評価用モデルの作成</p> <p>参考資料 2-2 浸透流解析に用いる透水係数の設定根拠</p> <p>参考資料 2-3 地下水位の上昇により生じる影響評価結果</p> <p>参考資料 2-4 集水機能の信頼性に係る詳細検討フローによるドレーンの有効範囲の設定結果</p> <p>参考資料 2-5 土木構造物における設計用地下水位の設定方法</p> <p>参考資料 3-1 地下水位低下設備の概要</p> <p>参考資料 3-2 既設ドレーンの概要</p> <p>参考資料 4-1 地下水位低下設備の目的、機能及び位置付け</p> <p>参考資料 4-2 地下水位低下設備の多重性及び独立性を確保した設計について</p> <p>参考資料 4-3 地下水位低下設備の機能喪失時の措置について</p> <p>参考資料 5 ドレーンの部分閉塞時の自由水面の保持について</p> <p>参考資料 6 観測水位による検証結果</p> <p>参考資料 9 液状化強度試験の詳細について</p> <p>参考資料 12 地震応答解析にて考慮する地盤物性のばらつき</p> <p>参考資料 8 地盤改良における補足</p>	<p>記載個所の相違 （地下水位の設定方針については参考資料 2～6に記載）</p> <p>設計方針の差異による （地下水位設定方針の差異）</p> <p>設計方針の差異による （女川では施設周辺の第四系は建設時に大部分を掘削して盛土に置き換えており、第四系を細分化しておらず、解析用物性値の代用はなし）</p> <p>プラント固有 （女川では東北地方太平洋沖地震の際は、護岸部分に津波が来襲し、護岸付近の沈下状況は不明。なお、建屋付近の沈下状況は参考資料 11に記載）</p> <p>表現の相違 記載個所の相違 （防潮堤及び防潮壁の</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機（2020/6/4版）	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		<p>参考資料 16 H-D モデルと試験結果の動的変形特性の比較</p> <p>参考資料 17 建物・構築物の地震応答解析に用いる地盤諸定数について</p> <p>参考資料 7 屋外の評価対象施設における液状化検討対象施設の抽出結果について</p> <p>参考資料 10 盛土の均一性について</p> <p>参考資料 11 2011年東北地方太平洋沖地震における沈下実績について</p>	<p>杭基礎のモデル化におけるばね等のモデル化条件については、各施設の補足説明資料に記載予定)</p> <p>設計方針の差異による (女川では、設置許可申請時と地質区分について変更なし)</p> <p>設計方針の差異による (女川では、マンメイドロックの解析用物性値はコンクリート標準示方書に基づく)</p> <p>設計方針の差異による (女川では液状化強度試験の下限値を包絡する液状化強度特性を設定)</p> <p>設計方針の差異による (女川では、液状化検討対象施設の抽出方法とその結果について記載)</p> <p>設計方針の差異による (盛土の施工時に材料管理及び品質管理により均一な品質を確保していることの説明。内容は設置変更許可段階の資料と同じ)</p> <p>プラント固有 (2011年東北地方太平</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-1 地盤の支持性能について）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機（2020/6/4版）	東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
		<p>参考資料13 盛土・旧表土の強度設定の考え方</p> <p>参考資料14 粘土分含有率について</p> <p>参考資料15 浸透流解析に用いた解析コード「GETFLOWS」の適用性について</p>	<p>洋沖地震における盛土等の沈下実績について整理・考察したもの。内容は設置変更許可段階の資料と同じ）</p> <p>プラント固有（盛土・旧表土の強度設定の概要について記載したもの）</p> <p>プラント固有（液状化検討対象層としての盛土・旧表土について粘土分含有率を整理したもの）</p> <p>設計方針の差異による（地下水位設定方針の差異）</p>